



2020年11月12日 第2428回例会
11月第2例会

Rテーマ ROTARY:ROTARY OPENS OPPORTUNITIES
「ロータリーは機会の扉を開く」

本年度会長テーマ
「ロータリーを心地よく」

「ロータリー財団月間」

◆ 会長時間 ◆

浜田会長



先週の理事会で、ある理事の方からご質問をいただきました。「近年入会者から広島西RCの運営についてもう少し詳しく知りたいので理事会かクラブ協議会を見学させて

もらうのは難しいのか、と聞かれたがどのように答えれば良いか？」という内容でありました。

近年入会者の方は新型コロナウイルスの影響で自身が肌で直接感じなければ理解できないであろう、昨年までは当たり前には享受できたことが不可能な現状がそのような考えに至ったのだと思われます。

理事会では各委員長より理事経由でご提出いただきました委員会事業等を慎重審議する必要があります。審議過程での発言が間違っ受取られ誤解を生む懸念がありますので、残念ですが理事会見学のご希望に沿えず申し訳ございません。とはいえ、理事会の雰囲気は早々に味わっていただきたいと思います。委員長・理事と貴重な役職を積極的に受けていただき、自分なりのクラブ運営をご思案いただけますよう心よりお願い申し上げます。

なお理事会は基本的に各月の第1例会終了後に開催されております。第2例会か第3例会配布の広島西RC会報に、正式なものではありませんが理事会議事録が記載されております。本年度のクラブ運営をご理解いただく参考にしていただければ幸いです。

● 会務報告

原 幹事

※大型プロジェクタースクリーンを広島西南RCと共同で導入しました。

※12月17日夜間例会並びに家族同伴懇親会中止の代替として12月24日例会時にプレゼントを企画します。

● 第8回理事会議事録

日時 2020年11月5日(休)

場所 ANAクラウンプラザホテル広島4階
「カメラア」

報告事項

- ① 各理事活動状況報告
- ② 10月収支計算書報告

審議事項

- ① 第7回理事会議事録の承認
- ② ANAクラウンプラザホテル広島へのアクリル衝立板寄贈報告の承認
- ③ 11～1月卓話プログラムについて活動計画承認
- ④ 12月24日例会にて会員へ配布するプレゼントについて活動計画承認
- ⑤ カンボジア「ひろしまハウス」への体育用品の寄贈についての活動計画承認
- ⑥ 佐伯区役所への足踏式消毒液スタンド寄贈についての活動計画承認
- ⑦ プロジェクタースクリーンの購入についての活動計画承認
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症への対応（欠席扱いとしないなど12月末まで延長）を承認

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 井下委員長

本 日 (11月12日・木曜日)

会員数 89名 出席者 73名

欠席者 16名 ご来客 0名

ご来賓 0名 ゲスト 1名

計 74名

4週間前の例会 (2020年10月15日・木曜日)

出席率 100%



※ 会報雑誌・広報委員会

諏訪(昭浩)君

ロータリーの友誌紹介

※ 国際社会奉仕委員会

吉井委員長

体育用品寄付のお願い

当委員会ではこのたび「カンボジアの首都プノンペンに所在する、貧困家庭の児童向け支援施設『ひろしまハウス』に対し、体育用品を寄贈する」という活動を行います。

体育の授業が無いカンボジアの青少年育成のため是非、ご協力をお願いいたします。

※ 親睦活動委員会

香川(浩)委員長

12月17日に予定されていた夜間例会並びに家族同伴懇親会が中止になりました。ANAクラウンプラザホテル広島の食事を楽しみにされていた方もいらっしゃると思いますので、ANAクラウンプラザホテル広島の食事券と鉢花を皆さんにプレゼントいたします。ご家族でぜひお楽しみください。12月24日の最終例会時に配布します。

欠席者には食事券は郵送します。鉢花は保管ができません。受け取り方法を委員会までお知らせください。

※ ロータリー財団委員会

鈴木委員長

先週、ロータリー財団強調プログラムでご案内しました年次基金寄付、恒久基金寄付、使途指定寄付の用紙をご提出いただけていない方が20名ぐらいいらっしゃいますので、早めにご提出をいただけると助かります。

ロータリー財団は、人と人を結びつけ、互いの文化、哲学や伝統の理解と尊重を助長することによって、平和と人道的奉仕の手段を提供す

る役割を果たしております。

この寄付金は12月会費より徴収させていただきますのでご協力をお願い申し上げます。

● 会員記念日

祝 連続出席100% (3名)

古屋君 (27年)

金本君 (25年)

田川君 (1年)

100%連続出席



25年 金本 善行 君



ご結婚記念日おめでとうございます。

(12名)

井原君

藤田(明)君

斉藤君

山木君

荒川君

部谷君

原 君

三浦君

中村(哲)君

南條君

浜田君

小宇羅君

● スマイルボックス

SAA 平原君



隅田君 (自主申告・金一封)

10月初旬に家内が、がんのスクリーニング検査でひっかかり、その後ペットCT検査をしました。先日結果が届き、経過観察ではありますが所見なしの判定でした。長い1か月でしたが、その間なかったスマイルが我が家に戻ってまいりましたので、スマイルさせていただきます。



大地君 (ダブル)

皆様のボックスに、クリスマスケーキとおせち重のご案内を入れていただきました。

大切な方々と過ごす年末年始に、彩りを添えるホテル特製の品々を是非ご利用くださいませ。

● 卓話予告

日時	テーマ
11/26(木)	「損害保険のお話」 隅田 高士 君 「西ロータリーのロータリーソング」 三浦 信夫 君 「減 量」 平原洋一郎 君



留学報告

2019-20 年度青少年交換派遣学生

奥田 麟太郎 君

この交換留学における目標と、その目標達成度を報告します。大きな目標は3つありました。

1つ目は英語能力の向上です。以前の自分より英語に対する抵抗がなくなり、向上したと感じていますが、まだまだ足りない部分があると自覚しています。これからはその足りない部分を穴埋めできるように日々の学習を頑張りたいと思います。

そして2つ目はコミュニケーション能力の向上です。初対面の人と話す機会がとて多く、話をするのがとても好きになりました。以前は人と話をしても聞くことが多くありましたが、積極的に自分から話をするできるようになったと感じています。

3つ目は、75年前に広島で起こった忘れてはいけない出来事「ヒロシマ」と核兵器の悲惨さを伝えることでした。ホストファミリーや周りの友達とは「ヒロシマ」について伝え、意見を共有し合うことができました。しかし、ロータリーの交換留学生の集会で「ヒロシマ」について発表する予定でしたが、残念ながら急遽帰国となってしまい、発表することができませんでした。この目標は100%達成することはできませんでした。とても悔いが残ります。

今回、ロータリー青少年交換プログラムに参加することができて、ほんとに良い経験をすることができました。そして、今回の留学で何事にも恐れず、とにかく行動に移そうという考えを持つようになりました。そのきっかけはアメリカに初めて来て、右も左も分からず、戸惑っているときにとりあえず何か行動を起こそうと思ったことです。その結果、身も心もひとまわり大きくなるのができて嬉しく思います。初めて、長い間家族と離れて生活をして家族のありがたさ、大切さを感じることができました。これからも家族を大切にしていきたいです。そして、今回得た知識、経験を

生かして今後の進路や人生に役立てていき、一步一步歩んでいきたいと思っています。



交換留学生との交流



ホストファミリー



■新会員卓話



健康増進をサポートする 住友生命の取り組み

～健康増進型保険 住友
生命 Vitality のご紹介～

小下 学 君

- ・ 昨今は、高齢化社会の進展などを背景に、官民をあげて健康増進を推進しております。健康で長生きは万人の願いですが、残念ながら平均寿命と健康寿命の差は、男性が約9年、女性が約12年となっており、健康寿命の延伸は社会的な課題となっております。広島県の健康寿命は、男性71.97年、女性73.62年。他人のサポートが必要な期間は長いというのが現状です。
- ・ 住友生命は、健康増進型保険「住友生命Vitality」を軸に、社会全体への健康増進の働きかけや、健康経営の推進を行うことで「健康寿命の延伸」という社会課題の解決に取り組んでおります。この取り組みを「CSVプロジェクト」と位置づけ、「お客さま」「社会」「会社・職員」とともに、健康増進という、新しい共有価値を創造することで「日本の健康寿命の延伸」を目指しています。CSVとは、Creating Shared Value の略語で「共有価値の創造」を意味しており、本業で社会的課題に取り組み「社会問題の解決」と「企業価値の向上」を両立させることを目指しております。
- ・ 健康寿命の延伸のためのCSVプロジェクトの軸である健康増進型保険「住友生命Vitality」は、継続的に健康増進活動に取り組むことをサポートするVitality健康プログラムを特約として、生命保険に組み込んだ商品で、2018年7月に発売しました。
- ・ Vitality健康プログラムに取り組んでいただくことで、お客さまに健康になっていただくことが目的です。この健康増進型保険を提供することにより、「健康増進活動に取り組むきっかけづくり」や「企業の健康経営のサポート」などを実

現したいと考えています。

- ・ 健康寿命を延ばすためには、運動不足、食生活、喫煙、アルコールなどの危険因子から生じる、生活習慣病を改善することが必要です。しかしながら私もそうですが、人はこれら危険因子を改善すれば良いとわかっているにもかかわらず、行動を変えることは難しいというのが現状です。
- ・ Vitality健康プログラムは、人間は必ずしも合理的ではないという立場で、人間の行動を分析する行動経済学を健康プログラムに取り入れることにより、お客様が継続的に健康増進活動に取り組むことをサポートします。お客さまの健康増進への取り組みを①健康状態を知る②健康状態を改善する③特典・リワードを楽しむ、という3つのステップを通じて応援します。
- ・ 昨年7月に実施した住友生命Vitality加入者へのアンケートおよび、歩数・血圧値の調査結果では ①「9割を超す加入者が健康を意識」するようになった ②「1日あたりの歩数が+17%増加」した ③血圧が140mmHgあった方のうち「10mmHg以上下がった方が約5割弱」おられました。結果「8割を超える方に生活の質が高まった」と回答いただいております。保険ご加入後「健康に関する意識・行動・健康状態が向上した」という結果となりました。以上が住友生命Vitalityのご紹介です。
- ・ 本日は、健康増進をサポートする住友生命の取り組みについてお話をさせていただきました。
- ・ ご清聴ありがとうございました。



訂正とお詫び

会報NO.2451の会務報告（2ページ目左上）記載内容に誤りがございました。

下記のように訂正し、お詫び申し上げます。

① 11月12日の次回例会は年次総会となっております。



② 12月10日の例会は年次総会となっております。

広島西RC

検索



例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 浜田 広
幹 事 原 敬

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会